

# いずみクラブ通信

2月号 2022.2.3

大寒を過ぎましたが、厳しい寒さが継続しております。本年度のいずみクラブは、コロナ禍の中での実施でしたが、17回実施することができました。阿南市内でも感染が広がりつつあるなか、1月20日にウインターキャンプ【6年】を実施しました。当日の朝、活動内容を変更し実施しましたが、子どもたちは身を乗り出すようにして講演内容に引き付けられていました。保護者の方も参加していただき、充実した時間を過ごすことができました。

いずみクラブは、地域サポーター・教職員・保護者の皆様のご協力・ご支援により運営されています。子どもたちは、学習・体験活動がある日を待ち望んでいます。本年度のいずみクラブの活動は終了しましたが、今後ともご協力・ご支援をよろしくお願いします。1年間お世話になりました。

長生小学校で6年間人権学習に取り組んできた児童の『人権力』について、20日にウインターキャンプからの感想文を紹介させていただき、本年度のいずみクラブ通信のまとめにします。

## 「君たちはどう生きるのか」の講演を拝聴して

私は、杉本先生のお話を聞いて、地震はやはりおそろしいなと思ったのと同時に、どこにいても、どのようなときでも人権力というものを持っていけることは大切だと思いました。自然という大きすぎるものに立ち向かわなくてはならない災害時などのときにこそ、人権ということについて考え、行動していくことが大切だと思いました。

これからは、世界の国々が国々どうし、関係を持つことが多くなっていくと思います。日本にも、黒人の人が多く暮らすようになってきたり、言語のちがう人と会話をしたり、関わったりすることも増えていくと思います。そんなときでも、差別心に負けず、良い関係を築けるようになっていきたいと思いました。

私は、杉本先生のお話を聞いて、まず地震の話から、改めて地震は本当に恐ろしいと思いました。いつ起こるか分からない地震に備えて自分ができることをしていきたいと思いました。

人権の話から、差別をしない強い心になっていきたいと思いました。肌の色やしゃべり方で、かってに何人とか決めつけられたり、あの子は気に入らないから仲間外れにするとか、自分がされていやなことを人にするということが本当に最低だと思いました。これからの自分の生き方について、本当に勉強になりました。

私は、杉本先生のお話を聞いて、「あ～確かに」と思うことがありました。「今の自分があるのは自分の記憶がない時にお世話をしてくれた人のおかげだ」という言葉です。地震の話をしてくれた時に、杉本先生は「いろいろな人の支えがあり、今生きることができている」と言っていました。

私は、人間はいざという時には、人と人同士が協力し合い、助け合うことが大切だと思いました。